

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年 6月 25日

高知県知事 殿

提出者

住所 高知県高知市春野町西分1794番地2

氏名 株式会社 レボテック・クリーン

代表取締役 上田 晃大

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 088-894-6840



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

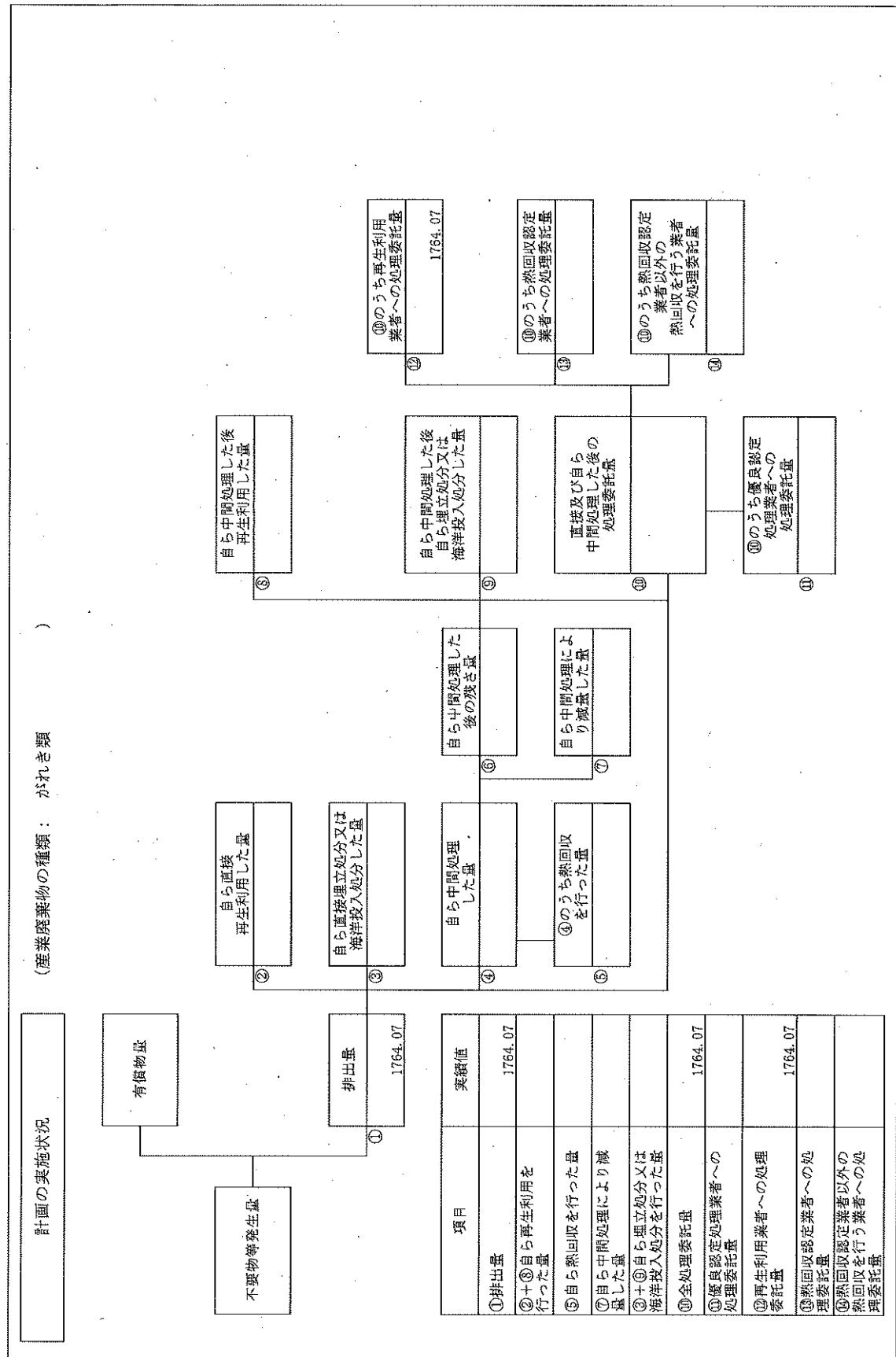
事業場の名称	旧香南くろしお園解体工事（他多数）
事業場の所在地	高知県香南市（高知市内を除く高知県内）
事業の種類	解体工事業他
産業廃棄物処理計画における 計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1761.9 t	全処理委託量	1761.9 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への 処理委託量	t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	再生利用業者への 処理委託量	1761.9 t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への 処理委託量	t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t
※事務処理欄			

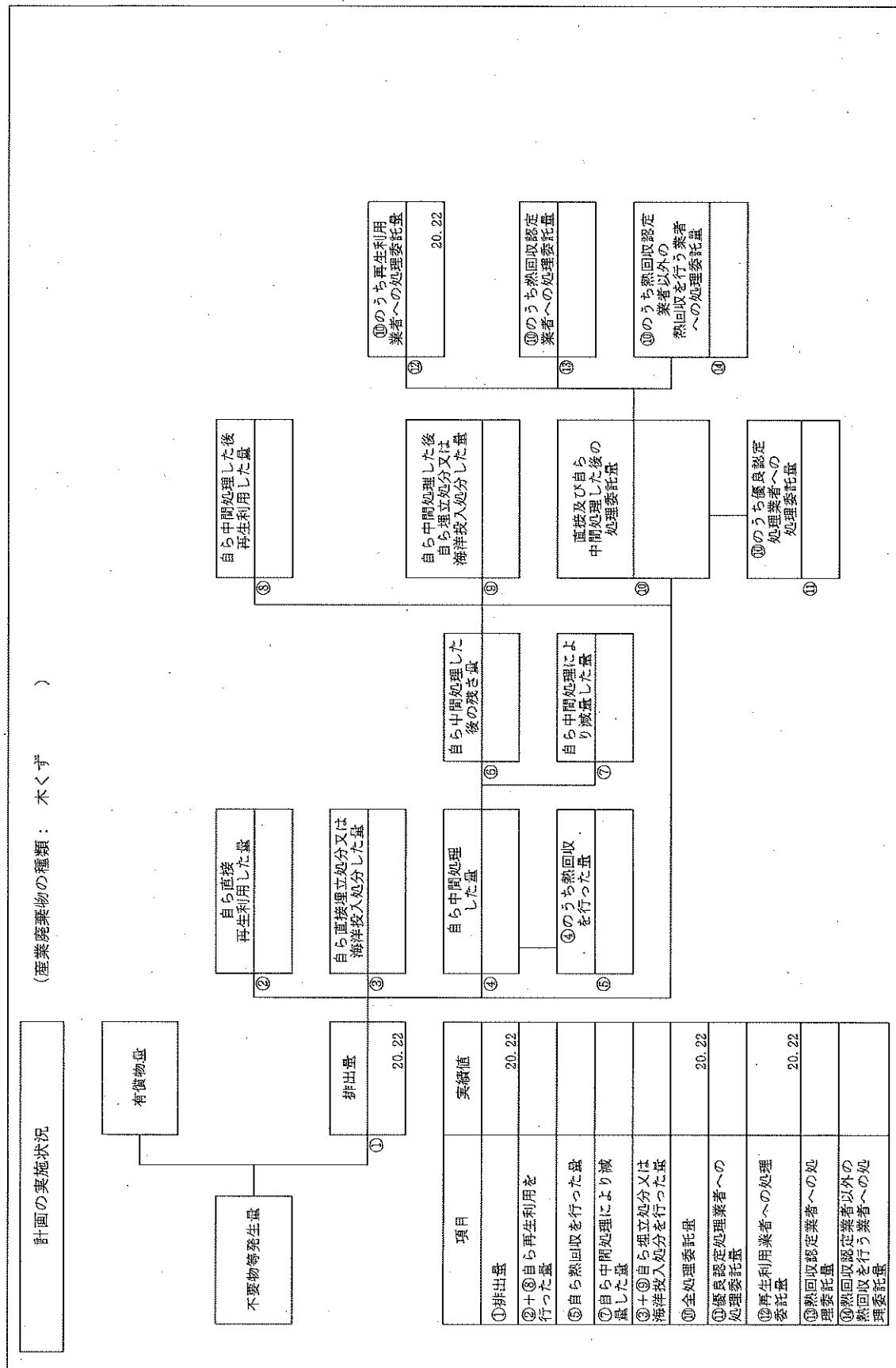
(日本工業規格 A列4番)

(第2面)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：木くず)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類 : 廃アラチック類)

有価物量

不要物等発生量

自ら面接
した量

再生利用を
行つた量

自ら中間処理
した後
自ら再生利用した量

⑤

排出量
10.25

自ら中間処理
した量

④

実稼値
10.25

自ら中間処理
した後
の残さ量

⑥

自ら中間処理
により減
量した量

⑦

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量
10.25

⑪

自ら中間処理
した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行つた量
10.25

自ら中間処理
により減量した量

⑧

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量
10.25

⑫

自ら中間処理
した後
の残さ量

⑨

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量
10.25

⑬

直接及び自ら
中間処理した
処理委託量

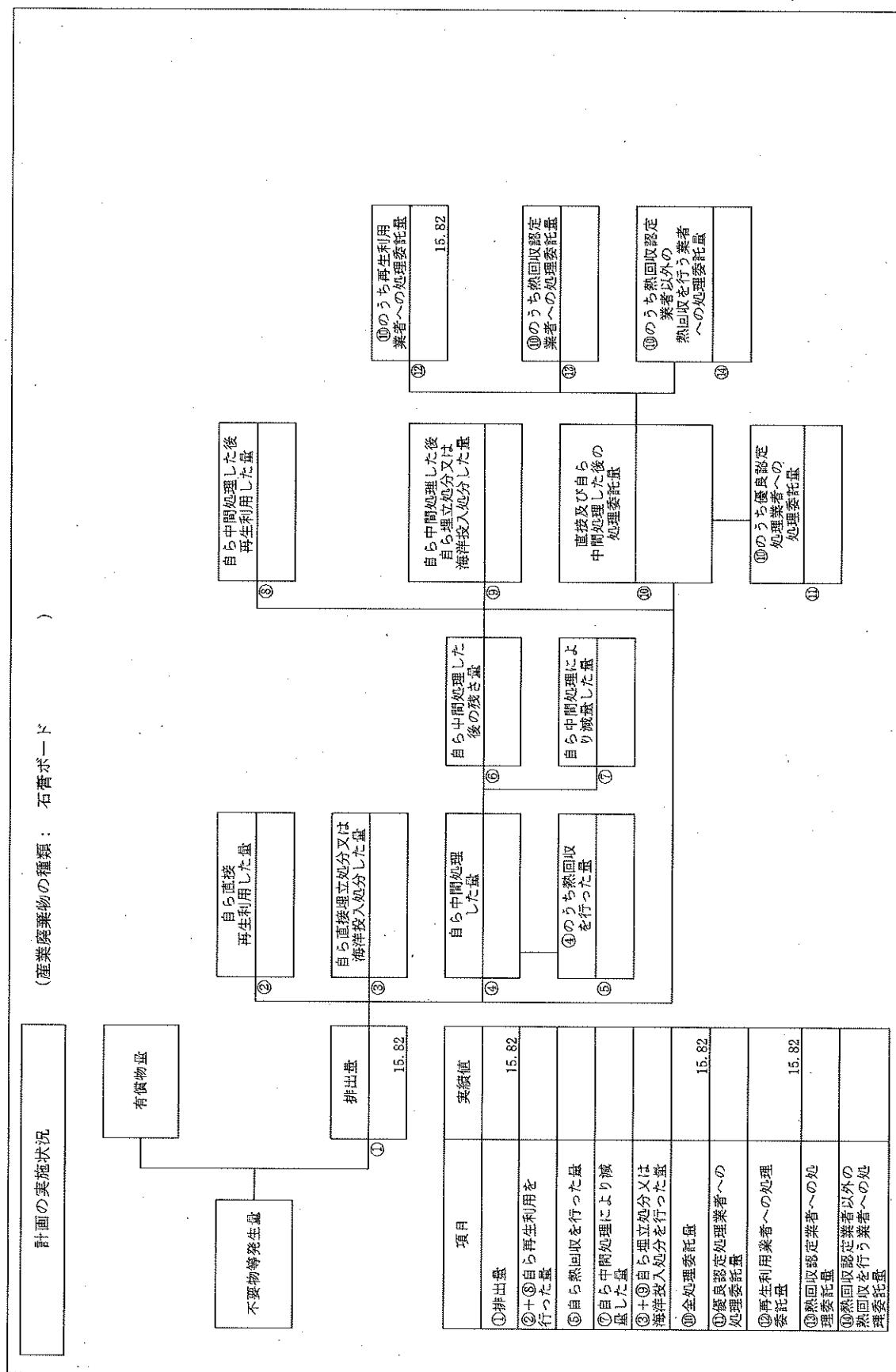
⑩

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量
10.25

⑭

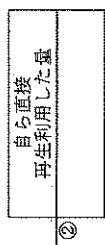
(第2面)

(第2面)

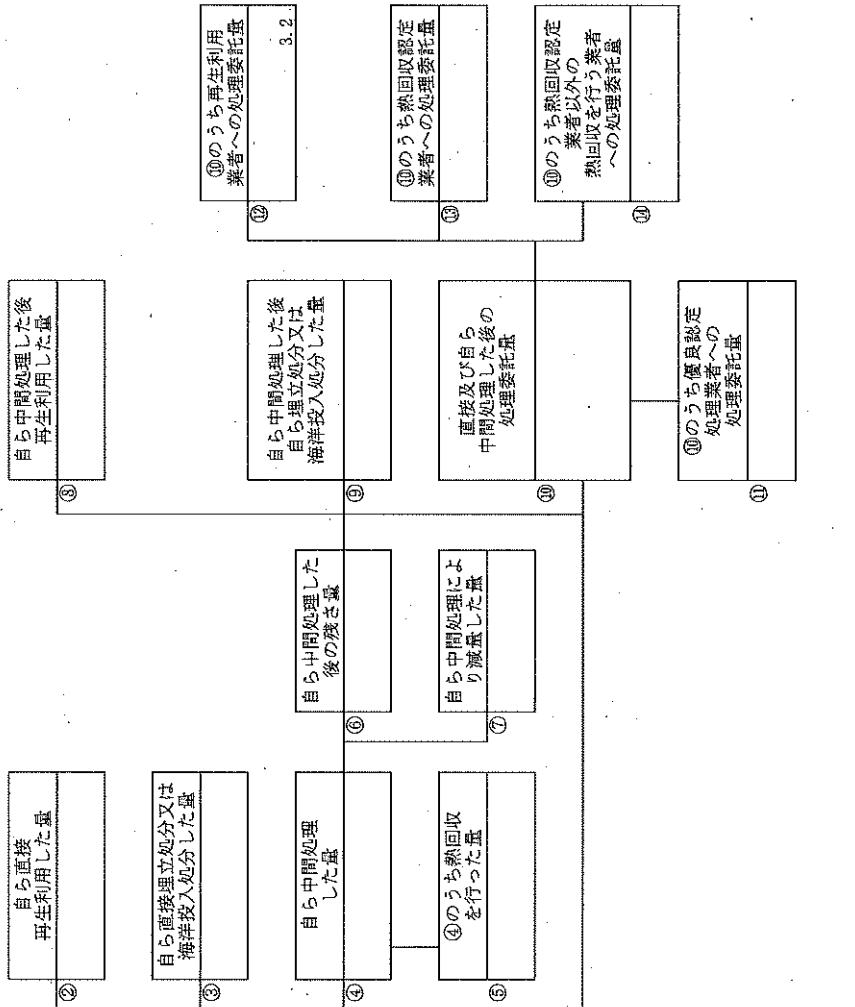


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類 : 混合廃棄物)



項目	実績値	自ら中間処理した後の廃棄量	自ら中間処理した後 自ら理立処分又は 海洋投入処分した量								
①排出量	3.2										
②+③自ら再生利用を行った量											
④自ら熱回収を行った量											
⑤自ら中間処理により減量した量											
⑥自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量											
⑦自ら中間処理により減量した量											
⑧+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量											
⑩全処理委託量	3.2										
⑪優良認定処理業者への処理委託量											
⑫再生利用業者への処理委託量	3.2										
⑬熱回収認定業者への処理委託量											
⑭熱回収を行いうる業者への処理委託量											



(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： ガラス・陶磁器くず)

有償物量

不要物等発生量

自ら直接
再生利用した量

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

排出量
1.84

自ら中間処理
した量

項目	実績値	①排出量	②+③自ら再生利用を行った量	④自ら熱回収を行った量	⑤自ら中間処理により減量した量	⑥自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	⑦自ら中間処理を行った量	⑧自ら中間処理した後の廃棄量	⑨自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	⑩のうち再生利用率 業者への処理委託量 1.84	⑪のうち熱回収認定業者への処理委託量 1.84	⑫のうち熱回収認定業者以外の 熱回収を行なう業者への処理委託量
①排出量	1.84											

②自ら直接 再生利用した量	自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	⑩のうち再生利用率 業者への処理委託量 1.84
③自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量	自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	⑪のうち熱回収認定業者への処理委託量 1.84

④自ら中間処理 した量	自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	⑫のうち熱回収認定業者への処理委託量 1.84
⑤自ら熱回収を行った量	自ら中間処理による 減量した量	⑬のうち熱回収認定業者への処理委託量 1.84

⑥自ら中間処理 した量	自ら中間処理による 減量した量	⑭のうち熱回収認定業者への処理委託量 1.84
⑦自ら中間処理により減量した量	自ら中間処理による 減量した量	⑮のうち優良認定業者への 処理委託量 1.84

⑧自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	自ら中間処理による 減量した量	⑯のうち優良認定業者への 処理委託量 1.84
⑨自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	自ら中間処理による 減量した量	⑰のうち優良認定業者への 処理委託量 1.84

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類 : アスコルガラ)

不要物等発生量

有償物量

排出量
②
再生利用した量

排出量
①
7.05

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量
③

自ら中間処理
した量
④
7.05

項目
①排出量
②+③自ら再生利用を行った量
⑤自ら熱回収を行った量
⑦自ら中間処理により減量した量
⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量
⑩全処理委託量
⑪優良認定処理業者への処理委託量
⑫再生利用業者への処理委託量
⑬熱回収認定業者への処理委託量
⑭熱回収を行いう業者への処理委託量

自ら山間処理した
後の残さ量
⑤
7.05

自ら中間処理によ
り減量した量
⑦
7.05

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量
⑧
7.05

①のうち再生利用
業者への処理委託量
⑫
7.05

①のうち自然回収認定
業者への処理委託量
⑯
7.05

①のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量
⑮
7.05

⑪のうち優良認定
処理業者への
処理委託量
⑯
7.05

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：がれき類(石綿含有建材))

2

蠶有價物

②	自ら再生利用した量	直接	自ら中間再生利用
---	-----------	----	----------

不要物等產生量

項目	實績值
①派出量	

⑤	自ら熟旦収を行った盤
⑥	⑦の中間処理により減 量した盤
⑧	⑨+⑩自ら埋立処分又は 海上投棄処分を行った盤
⑪	全処理委託量

4.6	
①優良認定処理業者への 処理委託量	①再生利用業者への処理 委託量
②燃回収認定業者への処 理委託量	②燃回収認定業者以外の 業者への処理委託量

②	自ら直接 再生利用した量	自ら中間処理した 海洋投入処分した量	自ら中間処理した 後、自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	⑪のうち再生利用 業者への処理委託量	⑫
④	自ら中間処理 した量	自ら中間処理した 後、自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	自ら中間処理した 後、自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	⑪のうち熱回収認定 業者への処理委託量	⑬
⑤	④のうち熱回 收を行った量	自ら中間処理によ り減量した量	直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量	⑪のうち熱回収認定 業者への処理委託量	⑭
⑥	④のうち熱回 收を行った量	自ら中間処理によ り減量した量	直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量	⑪のうち熱回収認定 業者への処理委託量	⑮
⑦	④のうち熱回 收を行った量	自ら中間処理によ り減量した量	直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量	⑪のうち熱回収認定 業者への処理委託量	⑯

⑨ 業者への処理委託量	⑩ うち燃回収認定業者への処理委託量	⑪ うち燃回収認定業者への処理委託量
自ら中間処理した後 自ら処理立入処分又は 海洋投げ入れ処分した量	直送及び自ら 中間処理した後の 処理委託量	⑫ うち燃回収認定 業者による業者 への処理委託量
⑬ うち優良認定 処理業者への 処理委託量		⑭ うち燃回収認定 業者による業者 への処理委託量

④のうち熟回収を行った量		
自ら中間処理した量	⑤	
自ら中間処理した量 後の残さ量	⑥	
自ら中間処理によ り減量した量	⑦	

⑪ 業者への処理委託量	⑫ うち燃回収認定業者への処理委託量	⑬ うち熱回収認定
⑭ 自ら中間処理した後 自ら独立処分又は 海鮮扱い処分した量	⑮ 直送及び自ら 中間処理した後の 処理委託量	⑯
⑰	⑱	⑲

		自ら中間処理した 後の残さ量	自ら中間処理によ り減量した量
④			
		自ら中間処理 した量	④のうち熟回収 を行った量
⑤			

	⑪ ⑩のうち優良認定業者への 処理委託量
⑪ 熱回収を行う業者 への処理委託量	

卷之三

1

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

業者以外の
熱回収を行なう業者
への処理委託量

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：蛍光灯)

有価物量

不要物等発生量

排出量
① 0.4

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量
②
③

自ら直接利用した量
④
⑤

実績値
④ 0.4
⑤

自ら中間処理
した量
⑥
⑦

項目
①排出量
②+③自ら再生利用を行った量
⑤自ら熱回収を行った量
⑦自ら中間処理により減量した量
⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量
⑩全処理委託量
⑪優良認定処理業者への処理委託量
⑫再生利用業者への処理委託量
⑬熱回収認定業者への処理委託量
⑭熱回収を行う業者への処理委託量

実績値
④ 0.4
⑤
⑥
⑦
⑧
⑨
⑩
⑪
⑫
⑬
⑭

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量
⑩のうち再生利用業者への処理委託量
⑫
⑬
⑭

自ら中間処理した後
自ら中間処理により減量した量
⑪
⑫
⑬
⑭

直接及び自ら
中間処理した後
の処理委託量
⑪
⑫
⑬
⑭

自ら中間処理認定
業者への処理委託量
⑪
⑫
⑬
⑭

自ら熱回収認定
業者以外の業者
への処理委託量
⑪
⑫
⑬
⑭

自ら熱回収認定
業者への処理委託量
⑪
⑫
⑬
⑭

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 金属くず)

有償物量

不要物等発生量

再生直接した量
②

自ら中間処理した後
再生利用した量
⑤

排出量
①

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量
③

自ら中間処理した後
の廃さ量
⑥

自ら中間処理
した量
④

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量
⑫

項目

実績値

自ら中間処理
した量
④

自ら中間処理した後
の廃さ量
⑥

⑪のうち熱回収認定
業者への処理委託量
⑫

64.21

自ら中間処理によ
り減量した量
⑦

⑫のうち熱回収認定
業者への処理委託量
⑬

64.21

自ら中間処理によ
り減量した量
⑦

⑪のうち熱回収認定
業者への処理委託量
⑬

(第2面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理について、①～⑪の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。